《第 123 回》 令和五年九月の作品

(九月八日 (金) 通信句会〉

聴くは脳不思議世界に迷ふ秋	補聴器を試す	「信濃リップ」と名付く林檎に頬を寄せ	病みがちの妻の言ふまま今朝の秋	爽やかや蓮華升麻の御嶽山	スーパーブルームーン雲間に隠れ友の逝く(八月三十日親友室賀太郎逝く	パリ五輪代表競ふ秋の陣	秋祭射的に魅入る孫娘	笠の内を覗き込む児や風の盆	葛の葉の覆ひかぶさる磨崖仏
(正 雄)		(芙 紗)	(前歩)	(孝昭)	(奉 男)		(正 佳)	(貴 美)	(隆治)	<u>二</u> 江